



げし
夏至（21日）… 一年間で昼間が一番長い日です …

気温や湿度が上がり、梅雨も本番となりました。ジャガイモも梅雨入りとともに葉が枯れてきて、収穫し頃となりました。それまで、葉っぱの下を住処にしていたカエルくんには、事情を伝えて、新しい隠れ家を探してもらいました。おいしそうなジャガイモが大中小合わせて340個も取れました。ミニトマトやオクラ、枝豆なども大きくなり始めています。

<半夏生 はんげしょうず 7月1日～6日>

夏至の末候は「半夏生」です。前号でもわくわく池の様子をご紹介しましたが、先週、そこに白い花の植物を見付けました。それがまさに、ハンゲショウなのです。水性植物の一つで夏至の頃に咲く花として知られています。半分化粧をしたように白いので半化粧という訳です。

以前にも紹介しましたが、わくわく池は、平成13年に保護者の皆さんに協力していただいて作ったビオトープです。水位が下がればホースで水を入れ、増えすぎた藻や外来種の水草は駆除しています。池の周辺も放っておくと、草が伸びてしまいます。子どもたちが遊んだり、生き物を観察したりするためにも適度に整える作業をしています。

<ハンゲショウをご存知でしょうか…>



5月には黄色い菖蒲：キショウブが咲いていた隣に、白い花が咲いていました。これが、ハンゲショウです。季節にちなんだ生き物や植物が次々と姿を見せてくれる青南幼稚園の園庭の自然の豊かさには、本当に驚かされます。



わくわく池は子どもたちが大好きな場所ですから、折に触れて整備をしています。何もしないのが自然ではありません。特にこの時期は、適度に刈らないと草は伸び放題になって、安心して遊べる場所にはなりません。



遊び込んで崩れてしまった池の土手を修復したり、敷石を購入して池の縁を安全に歩けるようにしたりする作業は、休業期間中に、先生たちや主事さんたちと一緒に行ってきました。



畑やプランターの野菜も少しずつ収穫期を迎えています。ジャガイモのように、一度にみんなに配れるほどは取れませんが、これからは収穫したものは、まず年長児から、できた順に一人一つずつ持ち帰る予定です。

ちなみに、オクラは明治時代に鑑賞用に輸入されたのが始まりだそうです。レモンイエローで真ん中が赤紫色のきれいな花です。